

# 広報 かわぐち

No. 229  
平成4年 11月

発行 新潟県川口町長 青柳 弘  
編集 川口町役場 総務課  
(〒949-75 ☎0258(代)89-3111)



## 10月18日(日) 農林水産振興まつり

～モチツキ大会～  
つきたてのアンコロモチ・キナコもちの  
サービスに行列ができる。

### 暴力団に関する 困りごとや相談は！

### 「財」新潟県暴力追放運動 推進センター」へ

☎ ツーホーはやくぞ110ばん  
**(025) 241-8110**

受付時間  
月～金 8:30～17:00

◆暴力排除運動の支援  
暴力団排除に関する運動の  
支援を行います。  
※このほか、暴力排除に関する  
あらゆる事業を行っています。  
財団法人新潟県暴力追放運  
動推進センター―新潟市堀  
之内三二番地 鳥屋野農協  
ビル三階

暴力団に関することは、迷  
わず、恐れずに同センターに  
ご相談ください。  
同センターでは、主に次の  
ような活動を行っています。  
◆困りごと相談の受理  
専門的知識を有する相談委  
員が相談に応じます。  
◆訴訟費用等の貸付  
暴力団が関与する民事訴訟  
費用等の一部を無利子でお  
貸しします。  
◆見舞金の支給  
暴力団から一定の被害を受  
けた方に見舞金を支給しま  
す。

～ご存じですか 守っていますか～  
**新潟県最低賃金**  
平成4年10月1日から  
1日 **4,360円**  
時間給の場合  
1時間 **545円**  
※最低賃金額  
は業種、業務  
パートタイム  
一、臨時雇を  
問わず適用さ  
れます。

区 分	経営改善貸付	国の事業ローン	経営多角化ローン
ご融資額	500万円	4,000万円	6,000万円
ご融資期間	運転資金 3年 設備資金 5年	運転資金 5年 設備資金 10年	設備資金 20年
利 率	年 5.4%	年 5.7%	年5.7%～年6.0%
緊急特例限度融資 (別枠：上記に加えて ご利用いただけます)	100万円 (お取扱いは 平成5年9月30日まで)	2,000万円 (お取扱いは 平成5年3月31日まで)	3,000万円 (お取扱いは 平成5年3月31日まで)

(利率は平成4年10月1日現在)

### 国民金融公庫 からのお知らせ 緊急特例限度 融資を新設

国の総合経済対策実施にと  
もない、新しい融資制度がで  
きましたのでご案内します。

なお、国の教育ローンも取  
扱っております。

●融資額 一五〇万円

●融資期間  
高校、短大、専修学校……  
……五年

大学、高専など……六年

※問い合わせ先  
国民金融公庫長岡支店  
☎(三五五) 三六一四三六〇

### 税を知る週間

十一月十一日～  
十七日

国税庁では、広く国民の皆  
さんに税の意義や役割を正し  
く理解し、身近なものとして  
考えていただけるよう、毎年  
11月11日(水)から17日(火)まで  
「税を知る週間」として、全  
国的に各種の行事を実施しま  
す。

期間中は「暮らしを支える  
税」をテーマに、各地のデバ  
ートなどで税に関するパネル  
の展示やビデオの放映、無料  
税金相談など、いろいろな行  
事を行いますので、お気軽に  
お立ち寄り下さい。  
国税局・税務署

人 口	6,369人	平成4年10月20日現在
男	3,114人	
女	3,255人	
世帯数	1,518戸	

おもしろ内容	農林水産振興まつり……………2～3	よい歯の学校園運動……………9
	明創審、新体制でスタート……………4～5	みんなのコーナー……………10
	町議会9月定例会……………6～7	スポーツコーナー……………12～15
	ごみ減量作戦……………8	お知らせコーナー……………16～18





▲「芸能ショー」

活力ある農業の町づくりをめざして

# 農林水産振興まつり

## 収穫を祝う

### 「錦鯉品評会」できばえを競う

域の条件を生かした、特産品の生産を拡大しよう。——をスローガンに毎年この時期に行われているもので、三月の町民雪まつり、七月の川口ま

「農産物大売出し」

▼「宝船値段あて」



十月十八日(日)、農業の祭典「農林水産振興まつり」が、今年も盛大に行われ、収穫の秋を祝い、町農業の振興発展を願った。

## 今年で二十一回

同振興まつりは、活力ある農業の町づくりをめざして——  
・農用地の流動化をすすめる、生産コストの低減に努めよう。  
・複合営農を推進し、企業感覚をもった高生産専業農家を育成しよう。  
・農業基盤と農村環境を整備し、希望あふれる農業農村をつくらう。・地



▲「モチツキ大会」

この日は、さわやかな秋晴れとなり、絶好の行楽日和となった。農産物の大売出しや和牛肉・豚肉の大特売、野菜・キノコの即売などの会場となったお祭り広場には、新鮮な野菜や肉を求めて、家族連れなど大勢の人たちが訪れ賑わった。また、七個の仮設池すが設けられた錦鯉品評会場には、生産者をはじめ町外からも大勢の人たちが訪れ、見事な泳ぐ宝石の観賞にひたっていた。

## 秋晴れのもと

さわやかな

## 優良農家 団体を表彰

式典会場では、水稲、園芸、畜産、水産などの各分野で活躍された優良農家・団体が表彰された。

水稲部門では、コシヒカリ品質向上共進会で、品質の向上と収量の確保に大きな成果を上げた広井淳一さん(相川二)が最優秀賞を獲得した。また、広井さんには、同共進会五年連続入賞により特別褒賞と特別賞の新潟県経済連賞が贈られた。

園芸特産部門では、品質の



▲西川口きのこ生産組合に「特産振興奨励賞」が



▲星野誠一さんに錦鯉「総合優勝」のトロフィーが

良いきのこの生産・増産に取り組み、町特産品としてのきのこの生産拡大に大きな成果を上げた西川口きのこ生産組合に特産振興奨励賞と長岡中央青果株式会社賞の特別賞が贈られた。

また、西倉スイカの品質と単位当たり出荷量で関二郎さん(西倉)、転作田によるミニトマト、町特産品づくりの一助として導入されたモロヘイヤの生産拡大で小林龍一さん(八郎場)、真島英一さん(相川口)にそれぞれ園芸振興奨励賞が贈られた。

畜産部門では、養豚の一貫経営で肉質の改善に努力され

- |          |         |            |
|----------|---------|------------|
| 1 水稲部門   | 最優秀賞    | 相川二 広井 淳一  |
|          | 優秀賞     | 下村 覚張 一也   |
|          | 優良賞     | 西倉 関 博茂    |
|          |         | 岩出原 岡村 憲助  |
|          |         | 前原 涌井 清嗣   |
|          |         | 相川一 星野 清勇  |
|          |         | 新敷 星野 洋子   |
|          |         | 岩出原 岡村 和明  |
|          |         | 牛ヶ島 江島 一夫  |
| 2 園芸特産部門 | 特産振興奨励賞 | 岩出原        |
|          | 園芸振興奨励賞 | 西川口きのこ生産組合 |
| 3 畜産部門   | 畜産振興奨励賞 | 相川口 真島 英一  |
|          |         | 八郎場 小林 龍一  |
|          |         | 西倉 関 二郎    |

## 農林水産振興まつり 被表彰者

錦鯉品評会では、出品一五二点の中から、星野誠一さん(田麦山)の紅白が総合優勝の栄冠を獲得した。また、渡辺寅治さん(武道窪)の三色が最優秀賞に輝いた。

## 私の生き甲斐は

### おいしい米 コシヒカリ作り

星野ハル子 (原新田)

先日行われた、町の農林水産振興祭りに出品した米が、金賞に選ばれました。思いがけない良報にそれこそ天にも昇る嬉しさでした。

農業一途に生きてきた主人の手助けに覚えた米作りです。三年前に突然七十九歳で亡くなりましたが、あまりにも農業一途の人でしたので、私も全作やめる気にはなれず、五アールだけを作って居ります。

- |        |                         |           |
|--------|-------------------------|-----------|
| 4 水産部門 | 水産振興奨励賞                 | 武道窪 渡辺 一己 |
| 5 特別褒賞 | 水稲(コシヒカリ品質向上共進会 5年連続入賞) | 相川二 広井淳一  |

- |      |                   |            |
|------|-------------------|------------|
| ◎特別賞 | 新潟県経済連賞(水稲部門)     | 相川二 広井 淳一  |
|      | 長岡中央青果株式会社賞(特産部門) | 岩出原        |
|      |                   | 西川口きのこ生産組合 |

また、農産物品評会で、星野ハル子さん(原新田)が出品した米が金賞に選ばれた。その喜びを綴った便りが町に寄せられました。早速ご紹介いたします。

植えて貰えば、元肥から刈取る迄の管理は全部やらせて貰って居ります。又、今年も天候にも恵まれ、近年にない上々の収穫でした。それに今回の入賞、刈終わった夕焼け空に手を合わせ、感謝致しました。受賞の喜びを、息子夫婦と孫三人に囲まれ、「ばあちゃんすごい、ヤッタね……僕も負けないで勉強するぞ、私も頑張るよ」と楽しい夕食の膳で祝って貰いました。私も間もなく七十歳、でも此の度の受賞を励みに今後も頑張ります。受賞の代表に選ばれ、町長さんより暖かい励ましのお言葉を頂き、胸の込み上げる思いでした。土に生まれ土に親しむこそ私達農民の使命ではないでしょうか。此の度は本当に有難うございました。



▲「錦鯉品評会」

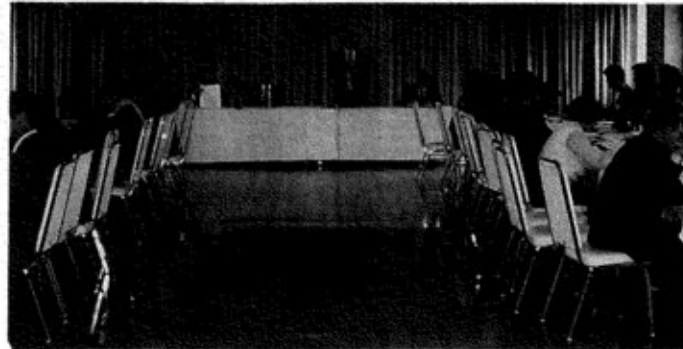


# 川口町の明日を創造する審議会

## 会長に小宮山正久さん 副会長に 中林浩さん 渡辺耀子さん が就任

### 新体制でスタート

川口町の明日を創造する審議会は十月九日、総会を開き、任期満了に伴う新しい委員の紹介と、役員選出を行い、会長に小宮山正久さん(新敷)、



▲総会で挨拶をする青柳町長(サン・ローラ川口で)

副会長に中林浩さん(川口三)、同渡辺耀子さん(川岸町)が就任した。また、各専門部会の正副部会長を選出し、新体制の下で同審議会がスタートした。現在委員は五十三名、任期は三年。

### 人材の育成等

### ソフト事業として 発足

これからの町づくりは、創造性と独創性のある町づくりを進めていかなければならない。そのためには人づくりが重要な課題となっている。住民の英知を結集し、町づくりへの町民の積極的な参加を進めていく必要がある。こうした背景の中で同審議会は、ふるさと創生資金一億円を活用し、ふるさとづくり基金として積立て、この基金から生じ

る果実(利息)を運用し、人材の育成等を図り、二十一世紀を展望したふるさとづくりに向けたソフト事業として、平成元年八月に発足された。同審議会の委員は、町の将来と次の時代を担う若い世代層を中心に構成され、行政全般について調査、研究、研修等を行い、勉強しながら、ふるさと創りに資するための活動を行うこととしている。

### 明日の川口町を 創造し、勉強し...

この日、町長から委嘱された新しいメンバーが、一同に会し、正副部会長を決めた後、各委員の自己紹介が行われた。続いて事務局から同審議会の規約、組織について説明があり、この後各専門部会に分かれて正副部会長を選出し、当面の取り組みや、次の部会の日程等を決めた。(各部会委員と正副部会長は下表の通り) また、この日、総会の開会にあたり、青柳町長が挨拶を行い、この中で、委員の皆さんから、今日よりすばらしい明日を創造し、勉強していた

## 審議会の専門部会委員

(◎印は部長、○印は副部長)

第一部会 氏名	第二部会 氏名	第三部会 氏名	第四部会 氏名
◎ 樹子 美良 晴夫 浩幸 久枝 江義 子	◎ 明子 昭学 子江 代一 子夫 也実 一	◎ 阿部 澄美 一子 夫晃 孝子 和子 子信 子明 昇子 子司	◎ 網山 吉佐 浦野 重正 山田 耀秀 亮順 勇
○ 野上 林辺 野沢 林勝 一	○ 河堀 上沢 徳峰 豊幸 時絹 晋津 美一 哲勝 洋	○ 大覚 佐藤 井川 野山 栄山 信裕 志喜 新	○ 関山 伊井 星小 山渡 関井 森小
星野 国信 幸正 秀勝 一	星野 上林 野沢 林勝 一	小宮 小宮 山小 小宮 山小 小宮 山小	小山 渡関 井森 小
小渡 星堀 中平 関	大星 佐真 江広 宮内	大星 小宮 山小 小宮 山小	小山 渡関 井森 小
岡村 比佐 津江 義子	真江 島井 哲勝 洋	小宮 山小 小宮 山小	小山 渡関 井森 小
森山 雅良	大星 佐真 江広 宮内	小宮 山小 小宮 山小	小山 渡関 井森 小
星野 良	大星 佐真 江広 宮内	小宮 山小 小宮 山小	小山 渡関 井森 小

だきたい、そして、町づくりのために良いことはほとんど進言して頂きたいと、同審議会の役割、重要性について述べる。お互いに切磋琢磨しながら、明日の川口町の発展のために頑張ることを、審議会に大きな期待を寄せた。

### 町の活性化など

### 四つの専門部会

審議会の組織は、四つの専

### よりよい町づくりを 目指して積極的に

今回、役員改選で会長に成りました小宮山です。平成元年八月にスタートした明創審



小宮山会長

それぞれ四つの専門部会に分かれ、若い世代の私達が、明日の川口町をどうしたら良いのか、大いに創造したいと思

それぞれ各部会でテーマを

決め、二十一世紀を展望し、より良い町づくりを目指して積極的に調査、研究し、内容について意見交換や情報交換をやり、一生懸命に取り組んでまいりたいと思います。また、皆様方の中から、私も委員になりたいと思う方は、役場又は近くの委員に御一報いただきますよう、よろしくお願ひ致します。



### いろいろな考えを だしあつて



中林副会長

今回、川口町のあしたを創造する審議会の副会長に任命され、光栄でもあり、不安でもあります。あしたの川口町創造するには大きな展望もさ

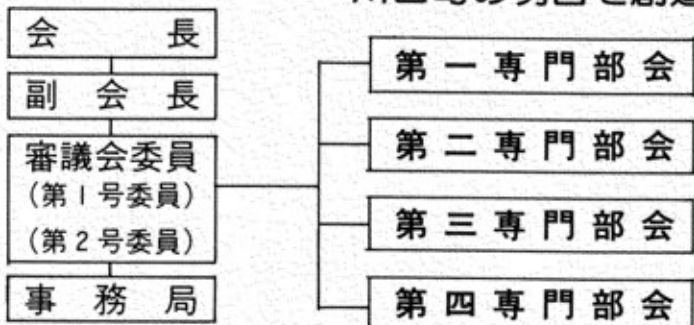
### 立派な果実を 実らせるために...



渡辺副会長

先日の総会で明創審の二期目、そして、副会長という大役をおおせつかることになりました。その折、町長さんのご挨拶の中に「明創審とは人材育成の場であり、その実行に当っては果実運用型である」とい

## 川口町の明日を創造する審議会組織表



コミュニティ施設、滞在型家族旅行村、リゾート施設、情報、公園広場、交流、観光、誘客、その他これらに類する活性化整備関係事項

国道及び町道、農業、商業、企業、漁業、林業、地域整備、河川、砂防、治山、克利雪、その他これらに類する社会資本整備関係事項

教育活動、社会教育、青少年健全育成、スポーツ、文化、人材育成、生涯学習、コミュニティ活動、その他これらに類する教育、文化、スポーツ振興関係事項

高齢者、保育園、保健衛生、消防防災、住宅、ガス、水道、下水道、廃棄物、公害、その他これらに類する居住環境整備関係事項



### 町議会9月定例会

# 平成三年度決算を認定 補正予算、条例改正 など原案どおり可決

九月二十四日(休)から十四日間の会期で開かれていた町議会九月定例会は十月三日(出)、本会議を開き、決算特別委員会並びに各常任委員会に付託されていた、平成三年度一般



会計歳入歳出決算及び特別会計歳入歳出決算、ガス事業会計決算、条例の一部改正、請願四件の審査報告を行い、同決算と条例改正について、それぞれ認定、可決した。また、請願四件を採択、同発議案(意見書の提出について)について可決した。

なお、この日上程された人事案件及び初日本会議で上程された一般会計補正予算などを含む全議案を、原案通り可決した。以下概要は次のとおりです。

◎報告第四号  
長岡地域土地開発公社の経営状況について  
地方自治法の規定により、同公社の平成三年度の事業報告と、平成四年度の事業計画及び予算等について報告したものです。

◎議案第六十三号  
川口町教育委員会委員の任命について  
同委員(一名)の任期満了に伴うもので、久島芳樹さん(西川口)が再任されました。

◎議案第六十四号  
財産の取得について  
除雪機械整備事業により、ロータリ除雪車購入の契約締結を行うものです。

◎議案第六十五号  
川口町土地開発基金条例の一部改正について  
同基金の積立限度額を六千万円から九千万円に引き上げたものです。

◎議案第六十六号  
平成四年度川口町一般会計補正予算(第二号)について  
新規補助事業(複合営農推進事業、パワーアップ園芸推進事業)の予算の増加決定、総合経済対策による事業量増に伴う「農村基盤整備事業」等の経費の追加、県知事選挙道路維持修繕、コテージ建設などに要する経費の追加を行ったもので、歳入歳出それぞれ二億五千二百九十八千円を増額し、歳入歳出総額を三億三千六百五十五万六千

にそれぞれ予算整理したものです。

◎議案第六十七号  
平成四年度川口町国民健康保険特別会計補正予算(第一号)について  
主に療養給付費の概算交付精算による返納に要する経費の追加を行ったもので、四百八十九千円を増額し、歳入歳出総額を二億七千五百八十九千円にそれぞれ予算整理したものです。

◎議案第六十八号  
平成四年度川口町老人保健特別会計補正予算(第一号)について  
平成三年度の精算と人事異動に伴う人件費などの追加を行ったもので、七百五十六万五千円を増額し、歳入歳出総額を四億四千三百五十六万五千円にそれぞれ予算整理したものです。

◎議案第六十九号  
平成四年度川口町簡易水道事業特別会計補正予算(第一号)について  
他事業に係る補償事業減に伴う事業費調整を行ったもので、五百十万円を減額し、歳入歳出総額を一億七千二百九

十万円にそれぞれ予算整理したものです。

◎議案第七十号  
平成四年度川口町農業集落排水事業特別会計補正予算(第一号)について  
総合経済対策による事業量増に伴う所要経費の追加などを行ったもので、二億八百四十万四千円を増額し、歳入歳出総額を六億一千八百四十万四千円にそれぞれ予算整理したものです。

◎議案第七十一号  
平成四年度川口町公共下水道事業特別会計補正予算(第一号)について  
N T T株売却凍結に伴う財源調整、人事異動に伴う人件費の追加調整、総合経済対策による事業量増に伴う所要経費の追加などを行ったもので、三千六百九十九万五千円を増額し、歳入歳出総額を四億七千九百六十九万五千円にそれぞれ予算整理したものです。

◎議案第七十二号  
平成四年度川口町ガス事業会計補正予算(第一号)について  
他事業に係る補償事業減に伴う事業費調整などを行った

もので、五百七十万円減額し資本的収入総額を四千七百三十万円に、資本的支出総額を七千八百三十万円にそれぞれ予算整理したものです。

◎議案第七十三号  
平成三年度川口町一般会計歳入歳出決算認定について

◎議案第七十四号  
平成三年度川口町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

◎議案第七十五号  
平成三年度川口町老人保健特別会計歳入歳出決算認定について

◎議案第七十六号  
平成三年度川口町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

◎議案第七十七号  
平成三年度川口町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

◎議案第七十八号  
平成三年度川口町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

◎議案第七十九号  
平成三年度川口町ガス事業会計決算認定について  
以上七件を認定。決算の概

要については、先月号でお知らせしました「平成三年度町の決算」をご覧ください。

◎議案第八十号  
川口町監査委員の選任について  
同委員(識見を有する者一名)の任期満了に伴うもので、渡辺勇さん(川口四)が再任されました。

◎議案第八十一号  
川口町固定資産評価審査委員会委員の選任について  
同委員(一名)の任期満了に伴うもので、関登代一さん(原新田)が再任されました。

◎請願第十号  
第十一次道路整備五箇年計画の投資規模確保に関する陳情について

◎請願第十一号  
民間医療機関の固定資産税非課税の制度化を求める陳情について

◎請願第十二号  
精神障害者福祉対策に関する陳情について

◎請願第十三号  
農業農村整備費予算の拡大に関する陳情について  
以上四件を採択。

◎発議案第九号

### 教育委員に

久島芳樹さん



### 監査委員に

渡辺 勇さん



### 固定資産評価

審査委員に



第十一次道路整備五箇年計画の投資規模確保に関する意見書の提出について  
◎発議案第十号  
民間医療機関の固定資産税非課税の制度化を求める意見

書の提出について  
◎発議案第十一号  
農業農村整備事業推進に関する意見書の提出について  
以上三件を可決。

町議会九月定例会において、任期満了に伴う町教育委員会委員に久島芳樹さん(五十六歳・西川口)、同監査委員に渡辺勇さん(川口四・六十七歳)、

同固定資産評価審査委員に関登代一さん(西川口・六十五歳)がそれぞれ選任されました。  
久島さんは、昭和六十一年三月同委員に就任し、今回で三期目で同委員長を歴任、任期は四年。  
渡辺さんは、昭和五十九年十二月同委員に就任し、今回で三期目、任期は四年。  
関登代一さんは、平成元年十二月同委員に就任し、今回で二期目、任期は三年。

## 言葉の履歴書 クアハウス

クワハウスとは、温泉を利用した保養施設のことです。温泉医学、運動生理学などに基つき、気泡湯、寝湯、打たせ湯、歩行湯など、いろいろな浴槽を備え、指導者を配置したものをいいます。

厚生省では民間の健康増進施設のうち、一定の設備の設置、健康運動指導士の配置、医療機関との連携などの要件を満たしたものについて、厚生大臣認定制度を昭和六十二年から設けています。これによりサービスマスの向上と利用者の適切な選択を支援しています。

この認定施設には、クアハウスなどの温泉利用型と、フィットネス施設などの運動型の二種類があります。平成四年六月末現在、全国で温泉利用型十四か所、運動型百二十六か所が認定を受けています。これらの施設を、医師の指示に基づいて治療のために利用した場合は、利用料金などについては、医療費控除の適用が受けられます。





これは、口腔衛生の向上をめざして、県学校保健会・県歯科医師会・新潟日報社が主催する「歯みがき」と「フッ素」の両輪による効果が徐々に上がってきています。今回表彰された田麦山保育園は、その努力が実り、歯科検診の結果がよい保育園として認められたものです。

## よい歯の学校園運動で

### 田麦山保育園が

### 優良校に

第三十四回新潟県よい歯の学校園運動で、田麦山保育園が優良園に選ばれ表彰されました。

これは、口腔衛生の向上をめざして、県学校保健会・県歯科医師会・新潟日報社が主

催して、優良学校園を毎年表彰しているものです。町では、こどもの虫歯予防をより効果的に推進するため、歯みがき指導、甘味制限とあ

わせ、昨年から園児(年中・年長組)を対象にフッ素洗口をとり入れるなど、虫歯

予防にあたってきており、「歯みがき」と「フッ素」の両輪による効果が徐々に上がってきています。

今回表彰された田麦山保育園は、その努力が実り、歯科検診の結果がよい保育園として認められたものです。

町では、これまで燃えないごみとして処分(埋立)してきたあき缶、あきビンを分別して収集を行いゴミの減量化とリサイクルを進める「ゴミ減量作戦」を、この十一月からスタートさせました。これにより、ゴミの収集の仕方が次のように変わりますので、各家庭のご協力をお願いします。

▼毎月第二火曜日 「あきビン」だけを収集します。(フタは取って下さい)。  
▼毎月第三火曜日 その他の不燃物(ガラス、セトモノ、電球、鉄くずなど)を収集します。  
粗大ごみは無料券(運搬許可証)の交付を受けてから

●町で収集するゴミは一般家庭から出るゴミです(事業に伴って出るゴミは収集しません)

燃えないゴミ		燃えるゴミ	
分別して出してください			
その他の不燃物 (ガラス、セトモノ、鉄くず等)	資源の回収(リサイクル)		●台所の生ゴミ ●紙類 ●木くず ●プラスチック容器類 ●食品パック  主ゴミは水分をよく切ってから出してください。 資源ステーションやプラスチックの資源
	あきビン	あき缶	
	毎月第3火曜日に収集します	毎月第1火曜日に収集します	
●ゴミステーションへ丈夫な袋に入れて出してください。		●ゴミステーションへ出してください。 ●きめられた場所、時間を守ってください。 ●散乱しないように出してください。	

燃えない粗大ごみは、役場で無料券の交付を受けてから七曲埋立地へ運搬してください。

# ごみ減量作戦

十一月からスタート

## あき缶・あきビンはリサイクルへ……

も増えています。ごみの少ない暮らしをめざして、便利で快適な暮らしも、内容は資源を無駄にし、ごみを増やすという二重の環境破壊の上に成り立っているのです。最近のテレビ、新聞等では、

「ごみは増え続けています」  
かつて私たちはあまりごみを出さない暮らし方をしていた。大切に使い、「もったいない」という言葉も当たり前前に感じていました。しかし、今や私たちのまわりでは次から次へと新製品が作り出され、使い捨てのライフスタイルが私たちの意識を変え、それとともにごみの量

地球規模での環境問題が取り上げられない日はないといっても過言ではありません。「地球があぶない」と言われても、なにをやったらいのかかわらないというのが正直なところではないでしょうか。

資源として  
リサイクル

そこで、町では身近なことから取り組むこととし、まずは、あき缶、あきビンの分別

ませればごみ分ければ資源  
従来のごみの処理は、「いかに効率よく処分するか」という考え方でしたが、これからは「いかにごみを出さないで、再生利用するか」が大きな課題です。ごみは「ませればごみ、分ければ資源」になります。

ごみの問題をこのままにしておけば、最終的には私たちや私たちの子孫の環境を悪化させることになってしまいます。くらしのなかのごみを減らし、資源をできるだけ再利用し、「地球にやさしい」ライフスタイルに変えていくのは一人ひとりのちよとした心がまえではないでしょうか。

あき缶あきビンの分別収集にご協力ください。

## 年賀はがきの発売について

川口郵便局

十一月二日(月)から年賀はがきが発売されますが、今回から町のPRを兼ねた絵入り年賀はがきを、川口郵便局で発売することになりました(寄附金お年玉つき年賀はがき(朝陽・紅梅)と地方版(万代橋)の他に)四十六円の次の絵入り年賀です。ご利用をお願いします。



秋から冬にかけて、ミカンやカキがおいしい季節を迎えます。むいた皮を捨てしまう方も多いでしょうが、ちよとした工夫で暮らしに利用できます。

### ミカンやカキの皮の利用法

### 香りや彩り、隠し味に

皮を布の袋に詰めてお風呂に入ると、油胞がお湯に溶けて肌ガツルツルになります。カキの皮はミカンの皮と違い、果肉を守るため固くて、調理をして食べることはあまりありません。しかし、漬物を漬けるときには、最高の隠し味になります。カキの果肉は外側のほうが糖分が多くて甘いのです。そのため、皮の近くが一番甘いといえます。ですから皮を捨てる時、一番甘い、おいしい部分を捨てていることになりません。これを漬物に使うのです。大根や白菜を漬ける時、むいたカキの皮を入れると、甘い独特の味が出て、風味のある漬物ができあがりです。このほか、干したカキの皮を煮物に使うと甘さがつくことなく、砂糖の代わりにもなります。



川口町・信濃川・魚野川の合流点より越後三山





みんなのコーナー

かわぐち俳壇

老人クラブ俳句教室の作家たち

赤のまま集めて孫の仲間入り 西川口
朝顔や村の眠りのまだ覚めず
晴天ときめて干瓢干しにけり
健康をよるこび合ひて秋仕事
あてにせず蒔きし胡瓜の成りそめし
桔梗挿し夫の忌速くなりけり
菜を間引くわが肩にきて赤とんぼ
朝露を踏みては今日も菜虫取る
畦みちを通れば蝗わさわさ

若き人逝きぬ夜通しちちる鳴く
稲架掛ける写真一枚撮らせてと
今日からは老人仲間菊の花
思ひ出の話は尽きづ出湯の秋
日和よく稲刈早く終りけり
夜もすがら谷間にしげき虫の声
稲刈りを子らも手伝う日曜日
稲刈りの親子三代揃えけり
雨続きシート着てゐる稲刈機
秋空にジェット機の雲長く曳き
晴天や風少しある稲の波
暮れてゆく田中の小路稲架匂ふ
若き日の彼女の匂ひ葛の花
月出づる山の稜線いわし雲
秋深き日さしを背なげに屋根直す
白萩の垣根を越へて今盛り
朝露にぬれたなすびを貰ひけり
風もなく二百十日の真夏並み
コンバイン音かろやかに稲を刈る
構えれば身を躰される蠅叩き
宿題を持たせて里に避暑気取り
ポール打つ音秋空に渡りけり
鈴虫ら輪切りの茄子に止まりけり
秋空や鉄のふれ合う音ひびき
稲の穂の波うつ日和娘は母に
敬老会ともに八十路の坂を越へ
秋の日や我が子の手術無事に終ふ
味噌買うを忘れてをりし残暑かな
丸見えの駅の裏山秋暑し

夜間の交通 事故防止

夜間の交通事故による死者が、急激に増えています。今年の七月末現在の交通事故死者数は、六、二六八人。これは例年になく厳しい状態で、昨年の同期と比べて三二五人も多くなっています。これを昼夜別にみると、夜間の死者数が圧倒的に多く、昼間の死者数に比べて八一八人も多い三、五四三人となっています。このように夜間の死亡事故が急増している背景には、どのようなことが原因にあるのでしょうか。そして事故に遭わないようにするためには、どのような注意すればいいのでしょうか。

ドライバーと歩行者が 気をつけたい三つの要因

若者の場合は、午後10時から午前2時までの間に死亡事故が多発——その原因の多くは、自分の運転技術を過信していること、またスピードを出したりしてカッコよく見られたいだけを考え、自分を見失っていること、さらにシートベルトの着用などの交通安全に対する意識が低いことなどが考えられます。高齢者の場合は、日没前後の時間帯に事故が多発しています。その原因の多くは、信号無視や無理な道路横断など、高齢者が交通规则や交通マナーを守っていないことです。「高齢者だから車のほうで止まってくれるだろう」といった高齢者特有の「甘え」があります。このうえ夜間ということでも、若者と高齢者のどちらの場合にも、次の三つの要因(共通点)が加わります。・視界や視野が悪くなる

“過信”や“甘え”が

死亡事故につながる

昼夜別に交通事故の発生状況を見ると、夜間の発生件数は全体の約三分の一です。しかし、死亡事故だけで見ると、約六割を占めているのです。つまり、夜間の交通事故は、死亡事故につながりやすいということがいえます。夜間は、交通事故が起こりやすい要因がいっぱいあります。昼間よりも気を引き締めて交通安全を心がけましょう。



県知事選挙結果

十月二十五日(日)に行われた新潟県知事選挙は、二人の候補者で争われ、平山征夫氏が初当選されました。川口町開票区の投票状況は次のとおりです。

Table with 2 main sections: '開票結果' (Polling Results) and '投票状況' (Polling Status). '開票結果' includes: 有効投票数 3,190票, 無効投票数 141票, 投票総数 3,331票. '投票状況' includes: 区分, 有権者数, 投票者数, 投票率, 前回投票率. Data for Male: 2,267 voters, 1,599 votes, 70.53% rate, 89.90% previous. Data for Female: 2,428 voters, 1,732 votes, 71.33% rate, 90.50% previous. Total: 4,695 voters, 3,331 votes, 70.95% rate, 90.21% previous.



候補者得票
ながさき明
一、〇七七票
ひらやま征夫
二、一一三票

町民俳句大会
11月8日 会場(本年は)福祉センター
10時開会 入選発表
選評講話 その他 (テープ) (テープ)
2時メ切り (5句投句)
当日句会 (互選)



### スポーツの町宣言

二十チーム  
百二十人が参加

十月四日(日)に、公民館と体育指導委員会の共催による第一回レディースグラウンド・ゴルフ大会が、キャンパス川口多目的広場で行なわれました。

一昨年よりニュースポーツの普及として導入したグラウンド・ゴルフですが、地区公民館の協力を得ながら、

各地域で講習会を実施し、普及活動を進めてきました。その結果、初めての大会にもかかわらず、各地域から二十チーム・百二十名の参加者があり、たいへん盛り上がりのある大会となりました。

実際のプレーに高度な技術や難しいルールがあまり必要ないため、初めてスティックにぎる人もすぐに名プレーヤーになれる利点があります。

この日もホールインワンが次々と並び出し、あちこちで歓声があがり、楽しい大会でした。大会の上位成績は次のとおりです。



▲ホールインワンも続出するなど熱戦が繰り広げられる。

**グラウンドゴルフ**  
一ロメモ

グラウンド・ゴルフは、昭和五十七年に創案されたニュースポーツ種目です。当町では平成二年から生涯スポーツとして普及に取り組んでいます。

やり方は、広場の土の上が芝生の上で直径六センチの硬いボールをスティック



で打ち転がして、ホールポストに入れます。ルールは、ゴルフに近く、合計打数の少ない者が勝ち。時間や人数に制限はなく、場所も多少の起伏があつた方が面白く、現場に合わせて距離やホール数を決めることができます。子どもでも、また年齢や男女に関係なく楽しめるスポーツです。



▲開会式で選手宣誓を行う星野和子さん(西川口)

## 西川口五組チームに初の栄冠は

## 第一回レディースグラウンド・ゴルフ大会

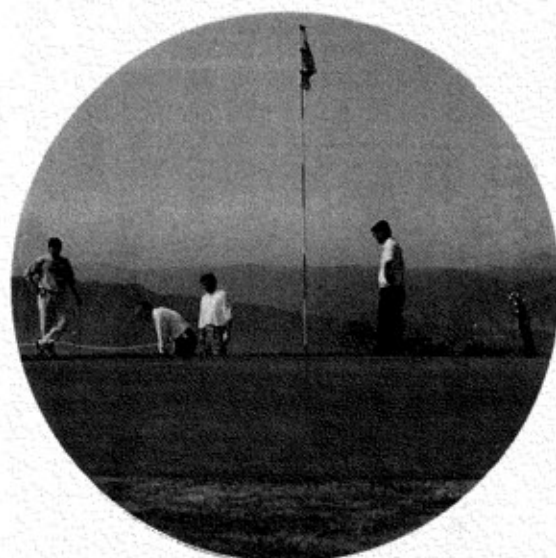
## 秋空の下さわやかに ニュースポーツで リフレッシュ!!

### 第一回レディースグラウンド・ゴルフ上位成績

<b>団体の部</b>	優勝	西川口5組チーム
	準優勝	田麦山Aチーム
	3位	東部地区館Bチーム
	4位	田麦山Bチーム
	5位	中山地区館Aチーム
	6位	中山地区館Cチーム
<b>個人の部</b>	1位	森山 順子 (田麦山A)
	2位	涌井しずえ (田麦山A)
	3位	関 真理子 (西川口1組)
	4位	星野 和子 (西川口5組)
	5位	小山 明美 (西川口5組)
	6位	笹崎 桂子 (田麦山B)
	7位	丸山シゲ子 (牛ヶ島A)
	8位	桜井栄美子 (西川口3組)
	9位	小林サトミ (和南津B)
9位	角張 照子 (田麦山B)	



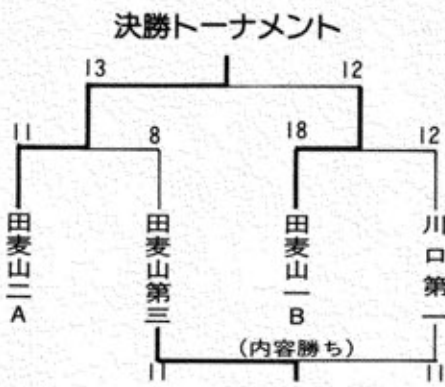
▲「始球式」を行う青柳町長



▲「バンカーショット」5番ホールで



▲「町民ゲートボール大会」10月14日 キャンパス川口で



プロック予選の上位四チームで決勝トーナメントを行い、実力を有する田麦山勢が予想どおりに上位を独占、優勝の田麦山第二クラブは三年秋、四年春と秋の三大大会を制したわけです。成績は次のとおり。

優勝 田麦山第二クラブA  
準優勝 田麦山第一クラブB  
三位 田麦山第三クラブ  
敢闘賞 川口第一クラブ

## スポーツの秋

# 町民ゴルフ大会

# ゴルフコンペで

# 親睦を深める

十月十一日(日)、町民ゴルフ大会が、キャンパス川口ファミリーゴルフ場で開かれ、プレーを楽しみ競い、親睦を深めた。

同大会は、今回で第四回を

迎えた。年々町内のゴルフ愛好者も増え、レベルも向上し大会は一段と盛り上がり熱戦が繰り広げられた。

この日、初心者からベテラ

ンまで男女五十四人が参加、青柳町長が始球式を行いプレー開始、十八ホ

ルパー五十四に挑んだ。各ホールでのナイスショットに拍手が起こり、プレーヤーたちは、日頃のゴルフの腕前を競い、親睦を深めながら、スポーツの秋の楽しい一日を過ごしていた。

大会の成績では、綱寅吉さんが実力を発揮しグロス六十四、ネット四十九で、優勝とベストグロス賞の二つの賞を獲得した。また、準優勝は星野照代さん(川口五)が獲得した。

優勝 綱 寅吉  
準優勝 星野 照代

### 町民ゲートボール大会

## 十八チームが参加

## 田麦山第二クラブが

## 二連覇



第十九回町民ゲートボール大会は、十月十四日キャンパス川口多目的広場で行われ、田麦山第二クラブAが優勝を飾りました。

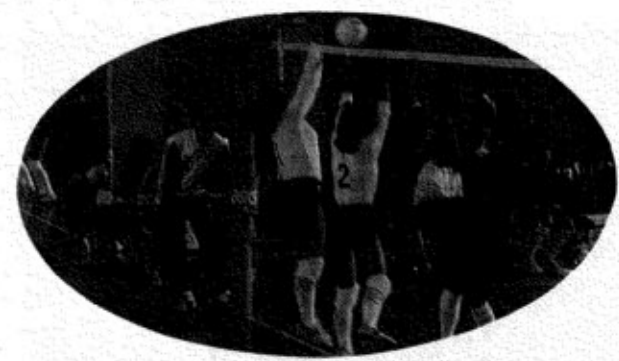
大会には十八チームが参加、



平成四年度の郡中学校陸上競技と各種球技の新人大会が、郡内町村に分散した会場で開催され、一、二年生が来年夏の大会を目指して技を競い、川口勢は各種目で健闘をみせてくれました。川口中学校はバレーボールの会場となり、熱気あふれる試合となりました。

### 陸上男子は好成績

陸上競技では中・長距離の八百メートル、千五百メートル、三千メートルの三種目、フィールド競技の走高跳、走幅跳、三段跳に一位となる活躍をしました。



▲バレーボール会場となった川口中体育館

### 庭球は川口勢で決勝

球技では、野球が決勝戦で湯之谷中に敗れて残念ながら二位となり、女子排球は決勝トーナメントで三位に、卓球団体女子が同じく三位、庭球男子は団体が三位に、個人は川口中の二つのペアが決勝戦まで進みました。各種目別の成績は次のとおり。(三位まで)

## 郡中学新人大会

# 川口勢が健闘!!

### 陸上六種目で一位

### 野球は二位に

### 庭球個人は上位独占



▲陸上▼

一〇〇M	一年	2位	小林 正樹
二〇〇M	一年	3位	佐藤 輝幸
三〇〇M	一年	3位	佐藤 輝幸
四〇〇M	一年	2位	関 裕樹
八〇〇M	一年	1位	丸山潤一郎
一、五〇〇M	二年	2位	関 真矢
二、五〇〇M	二年	2位	関 真矢

三〇〇M

二年	1位	桜井 俊行
一年	1位	前沢 孝一

(1m74 大会タイ記録)

走幅跳

3位	菅原 隆行
1位	小宮山裕久
1位	小宮山裕久

三段跳

1位	小宮山裕久
3位	関 裕樹

砲丸投

3位	関 裕樹
----	------

八〇〇Mリレー

3位	川口中男子
----	-------

▲野球▼

2位	川口中男子
----	-------

▲排球▼

女子	3位	川口中女子
----	----	-------

▲卓球▼

団体女子	3位	川口中女子
------	----	-------

▲庭球▼

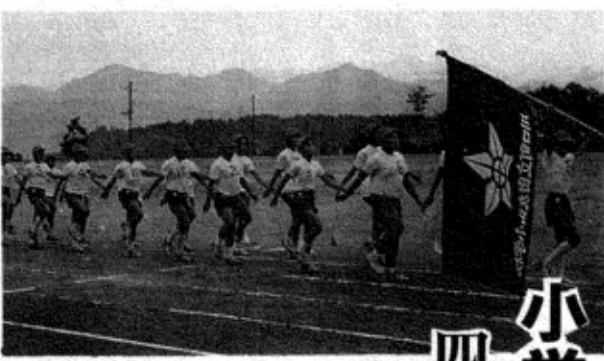
男子	3位	笹崎 孝
----	----	------

▲走高跳▼

3位	星野・黒島組
2位	渡辺・小林組

## 小学校親善運動会

### のびのびと 楽しく交流



▲「入場行進」

町内の小学校五、六年生による親善運動会が、九月二十九日キャンパス川口陸上競技場で行われ、二百人の児童がスポーツを通して交流を深めました。

この運動会は、走る跳ぶの基本的な競技の中から毎年同じ種目を実施、記録を比較して競技力の向上をめざすとともに学校間の交流をねらいとしているもので、今年はその二十七回目。

最後に赤白に分かれて全員による綱引きを楽しみ、親善交流を深めていきました。各種目の一位入賞者は次のとおり。

◆一〇〇M走

五年男	佐藤 慶幸	川口
女	覚張まゆみ	川口
六年男	喜多村考志	川口
女	関 美幸	川口

◆八〇〇Mハードル

五年男	喜多村大樹	川口
女	覚張まゆみ	川口
六年男	覚張 伸和	川口
女	丸山美佐子	川口

◆八〇〇M走

五年	佐藤 教子	川口
六年	関 温子	川口

◆一、五〇〇M走

五年	綱 友巳	川口
六年	平沢 篤	川口

◆走幅跳び

五年男	宮 竜也	川口
女	佐藤 教子	川口



▲「力走」七種目の競技に挑戦

◆大会新記録

佐藤教子	八〇〇M	2分24秒
山田喜子	八〇〇M	2分48秒

◆四〇〇Mリレー

五年女	川口A	1分3秒4
六年女	川口A	1分1秒4

◆走高跳び

五年男	堀沢 洋之	川口
女	丸山ジンドフレ	川口
六年男	宮 章雄	川口
女	関 温子	川口

◆四〇〇Mリレー

五年男	川口小A	1分3秒4
六年男	川口小A	1分1秒4
女	川口小A	1分1秒4

九月二十七日(日)、第三回町内少年少女陸上競技大会(川口まつり協賛・'92スポーツフェスティバル)が、さわやかな秋風が吹くなか、キャンパス川口陸上競技場で大勢の小中学生が参加し、フィールドトラックに熱戦をくりひろげました。

## ~'92スポーツフェスティバル~

### 町内少年少女陸上競技大会

佐藤教子さん(川小5)と桜井俊行くん(川中2)が最優秀選手章を受賞  
主催 町体育協会 主管 町陸上競技協会

今年が小学生の部で四つ、中学生の部で三つの大会新記録が生まれました。  
今年の最優秀選手に、佐藤教子(川小五年)さんと桜井俊行(川中二年)くんがそれぞれ選ばれました。成績は次のとおり。

●最優秀選手章

小学の部	佐藤 教子
中学の部	桜井 俊行

●女子

小学5年	100m	15"8新	佐藤 教子 (川口小)
		16"2新	覚張まゆみ (川口小)
小学6年	100m	15"9新	覚張まゆみ (川口小)
		15"9新	星野麻美子 (川口小)
小学6年	100m	15"9新	星野麻美子 (川口小)
		3m40	星野麻美子 (川口小)
小学6年	100m	15"9新	星野麻美子 (川口小)
		3m60	星野麻美子 (川口小)
中学	100m	15"5	真島 文恵 (2年)
	200m	31"3新	真島 文恵 (2年)

●男子

小学5年	100m	16"1	佐藤 慶幸 (川口小)
		3m63	小見 友彦 (田麦山小)
小学6年	100m	14"6新	喜多村考志 (川口小)
		3m82	森山 達矢 (田麦山小)
中学	100m	13"2	古田島直人 (2年)
	400m	1'02"5	桜井 俊行 (2年)
	1500m	4'49"0	桜井 俊行 (2年)
	走幅跳	4m85新	小宮山裕久 (2年)
	走高跳	1m56新	前沢 孝一 (2年)
	砲丸投	8m85	関 裕樹 (1年)



### 歳時記

秋が深まると、ブドウ酒の新酒が話題になります。国産は十一月に入ると店頭並び、ヨーロッパからの輸入物は、日本では十一月の第三木曜日に発売されます。

ブドウ酒は、ブドウを搾って出る果汁を発酵させて造る果実酒です。最近では、ワインという英語で呼ぶほうがポピュラーです。

ワインというと、すべブドウを連想しますが、実は、ナシワインやキウイワインなど、いろいろとあります。

以前、日本では加糖した甘いスイートワイン(昔はポーターワインと言っていました)が主流でした。しかし、最近では生ブドウ酒、いわゆるテールワインが一般的になってきました。ブドウ酒が現在のようになり、日常的にわたしたちの生活に入ってきたのは、日本人の食卓が豊かになったことと、女性の愛好者が増えたためでしょう。

ブドウ酒の楽しみ方には、いろいろなお説があります。赤と白の飲み分けについても、肉には赤、魚には白とが、魚介類には赤はいけないとが、各自の好みで構わないなど、さまざまです。また味わって飲むには、グラスの足を持って光にかざして色を楽しみ、グラスを揺すって香りを楽しみ、次に少量を口にふくんで舌の上で転がすようにしてゆつくり味わう……などといわれています。

十一月は、ゆとり創造月間です。これを機会に、家族そろってゆつくりブドウ酒を楽しみおなごゆりのあるライフスタイルの創造について、考えてみてはいかがでしょうか。





# みんなで取り組む 快適環境づくり

みんなで  
守ろう  
地球の環境



県環境づくり推進員  
関 丑松さん (川口)

## 環日本海協力会議

環日本海の問題を考えた協力しあう「第一回環日本海環境協力会議」が、十月十三日から四日間新潟市で開催されました。

同会議は、環境庁と新潟市が主催して開いたもので、日本のほか、中国をはじめモンゴル、ロシアなど五カ国の政府関係者が参加し、酸性雨や日本海の海洋汚染など、一国の枠に取まらない環境問題が討議されました。初日の公開シンポジウムには、北海道や富山など環境行政関係者や企業、消費者グループのほか、

県が委嘱した市町村の快適環境づくり推進員など約三百人余が参加して行われ、環日本海環境問題の現状などについて熱心な討論が交わされました。当町から同推進員の関丑松さんが参加されました。地球を取り巻く環境問題ととりわけその対策等について国連傘下の各国が懸命に取り組んでいます。我が国も、県などそれぞれの行政機関を中心にして、あらゆる分野において諸施策を推進していきます。

## 地球にやさしい ライフスタイル

こうした中で、県では、地域に密着したきめ細かい普及啓発活動を行うため、新潟県快適環境づくり推進員制度を平成三年度に創設しました。関さんは、この推進員に県知事から委嘱され、地域で、



私たち一人ひとりが、自発的に地球環境にやさしいライフスタイルの実践への普及啓発や住民参加の環境保全実践活動の輪の拡大などにあたっています。地球環境問題への取り組みには、私たち一人ひとりの産業経済活動や日常生活の中で、この問題にどのように関かっているのかを考え、地球環境にやさしいライフスタイルを心掛けるなど、「地球規模で考え、足元から行動する」とことが重要です。町では、ごみの減量化、リサイクルによる「ゴミの減量作戦」を打ち出し、十一月からスタートさせました。家庭の皆さんの協力と、快適な環境づくりに町民みなさん一人ひとり一層のご協力をお願いします。

## 小規模企業共済 中小企業倒産防止共済 加入促進強調月間

事業主の  
皆さんへ

中小企業庁では、十月・十一月を両共済制度の全国加入促進強調月間と定め、その普及と加入促進を図っています。そこで、両共済制度のあらましについてお知らせします。

## 応援します ゆとりある人生

### 制度の特色

- 安全・確実  
共済金の額は法律によって定められておりますので安全・確実です。
- 掛金は全額所得控除  
掛金は税法上全額が小規模企業共済等掛金控除として、課税対象所得から控除されます。
- 共済金の支払いは一時払い  
共済金の支払いは一時払い又は分割払い
- 共済金の支払いは、一時払い又は分割払いが選択できます。(ただし、分割払いの場合には一定の要件が必要です。)
- 共済金は退職所得又は公的年金等の雑所得扱い  
共済金は、税法上一時払共済金については退職所得扱い、

## 事業主の退職金制度 小規模企業 共済

「小規模企業共済制度」は、いわば国がつくった事業主の退職金制度です。月々掛金を納付していただくことにより、事業をやめたり、役員を退職したときなど第一線を退いたときに法律で定められた共済金が支払われます。将来にそなえて小規模企業共済へのご加入をおすすめします。

分割共済金については公的年金等の雑所得扱いとなります。

- 貸付制度  
加入者(一定の資格者)は掛金の範囲内で事業資金の貸付け(一般貸付け、傷病災害時貸付け)が受けられます。

### 加入できる方は

- 常時使用する従業員20人(商業とサービス業では五人)以下の個人事業主及び会社や企業組合・協業組合の役員の方々です。
- ひとりりて事業を営んでいる方、また自由業の方も加入できます。

### 毎月の掛金は

- 毎月の掛金は、最低一、〇〇〇円から、最高七〇、〇〇〇円までの範囲内(五〇〇円きざみ)で自由に選べます。

加入後、掛金は増・減額ができません。(ただし減額する場合、一定の要件が必要です)また、掛金の前払いもできません。

## 取引先倒産の 場合の資金手当 をいたします

## 中小企業倒産 防止共済

「中小企業倒産防止共済制度」は、取引先企業の倒産の影響を受けて中小企業者自身が倒産する等の事態の発生を未然に防ぐため、中小企業者の方々があらかじめ掛金を積み立てて、相互に救済(共済金の貸付け)する国がつくった制度です。

### 加入できる方は

- 掛金は、税法上必要経費又は損金に算入できます。
  - 解約手当金の範囲内で臨時に必要な事業資金の貸付けが受けられます。
- ### 加入できる方は
- 引き続き一年以上事業を行っている中小企業者の方です。
- ### 毎月の掛金は
- 五、〇〇〇円から八〇、〇〇〇円までの範囲内で自由に選べます。(五、〇〇〇円きざみ)
- ### ※お問い合わせは
- この制度の詳しい内容は、最寄りの中小企業関係団体(商工会連合会・市町村の商工会・商工会議所・中小企業団体中央会など)及びお取引の金融機関のほか都道府県の商工担当課・通商産業局の中小企業課又は中小企業事業団へお問い合わせください。

制度の特色

- 掛金総額の十倍の範囲内で



## バスで送迎します

サン・ローラ川口では、利用者への感謝と、施設へのより理解と親しみを増していただくこと、今年も次により施設を無料開放いたします。また、「キャンパス川口」のご案内もいたします。

かけください。お待ちしております。

サン・ローラ川口(新潟建設労働者研修福祉センター)は、昭和六十一年にオープンし今年で六年目を迎えました。企業等の社員研修、各種会議をはじめ、結婚式や会合などに、大勢の人たちから利用されています。

## サン・ローラ川口 無料開放します。

ご家族  
おそろいで  
おでかけ  
ください。

◆日時 11月11日(水) 午前9時～午後4時

◆ハーブ浴で心も体もリフレッシュ

2階和室広間、浴室(ハーブ浴)を無料開放、ビデオ放映も行っています。  
※きのこ汁をサービスします。

◆送迎バス

- マイクロバス1号車
- 9:00・田麦山農協前→9:15・川口小学校前→9:25・西倉集荷場前→9:30・西川口小西屋前→9:35・岩出原十字路→サン・ローラ川口
- マイクロバス2号車
- 9:00・相川集落センター→9:10・貝之沢農協スタンド前→9:15・福祉センター前→9:20・中山信号十字路→9:25・和南津喜多村商店前→サン・ローラ川口
  - 10:00・木沢小学校前→サン・ローラ川口

(次により運行しますのでご利用下さい。)